

SK44 南北方向土層断面(西から)



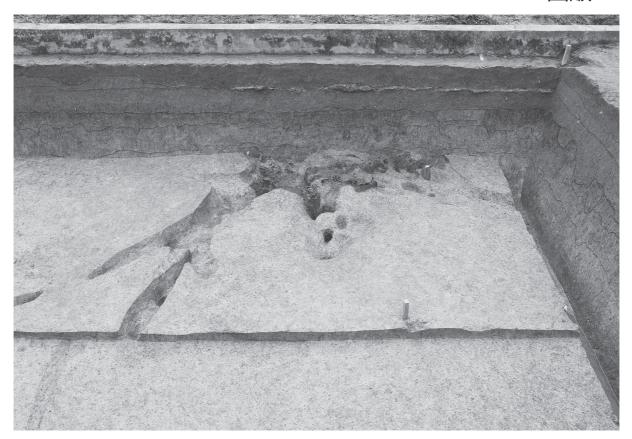
SK44 北壁土層断面(南から)



SK46 土層断面 (西から)



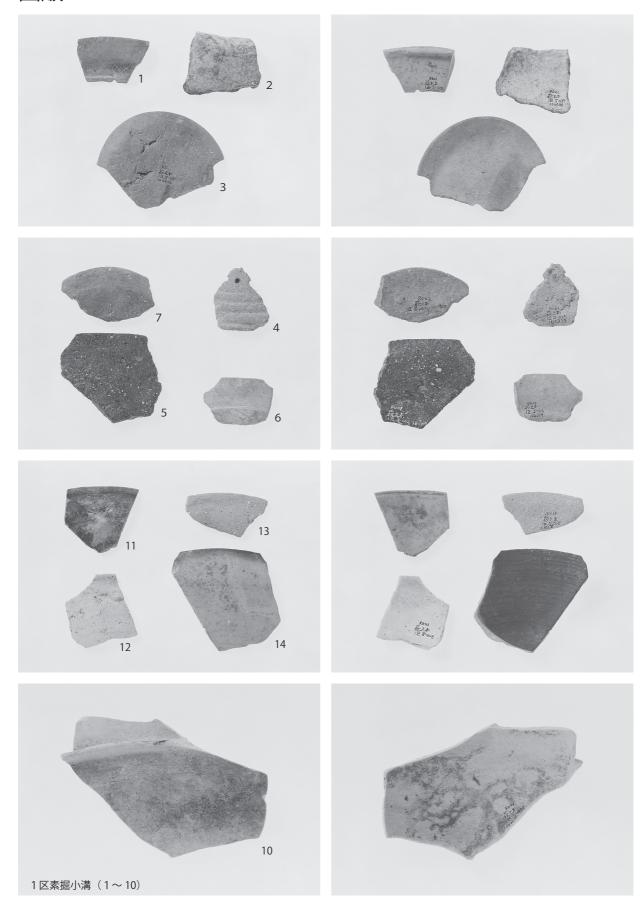
SX45 検出状況(東から)

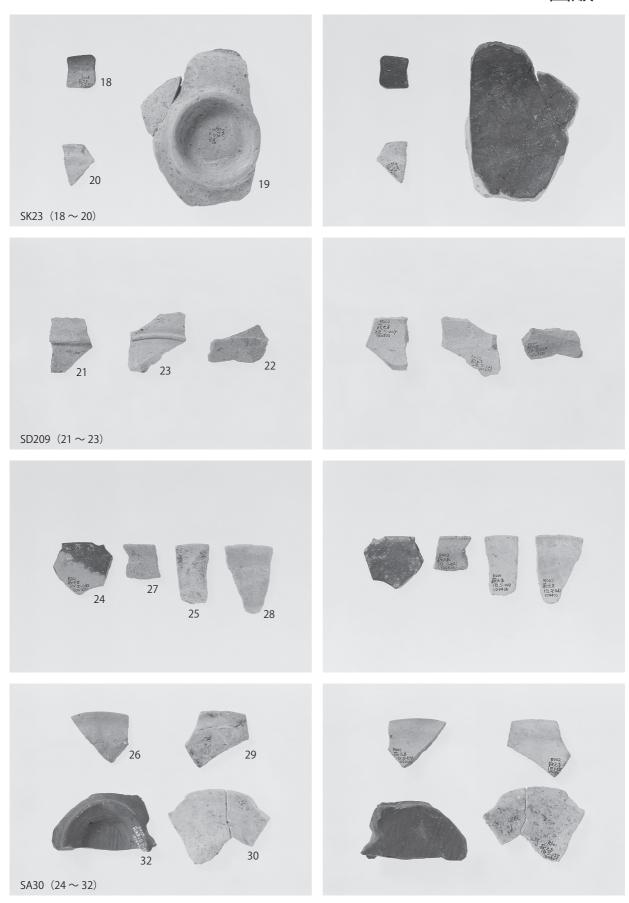


SX45 完掘状況(東から)

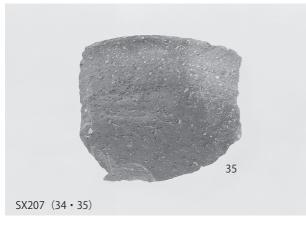


調査終了後風景(南東から)





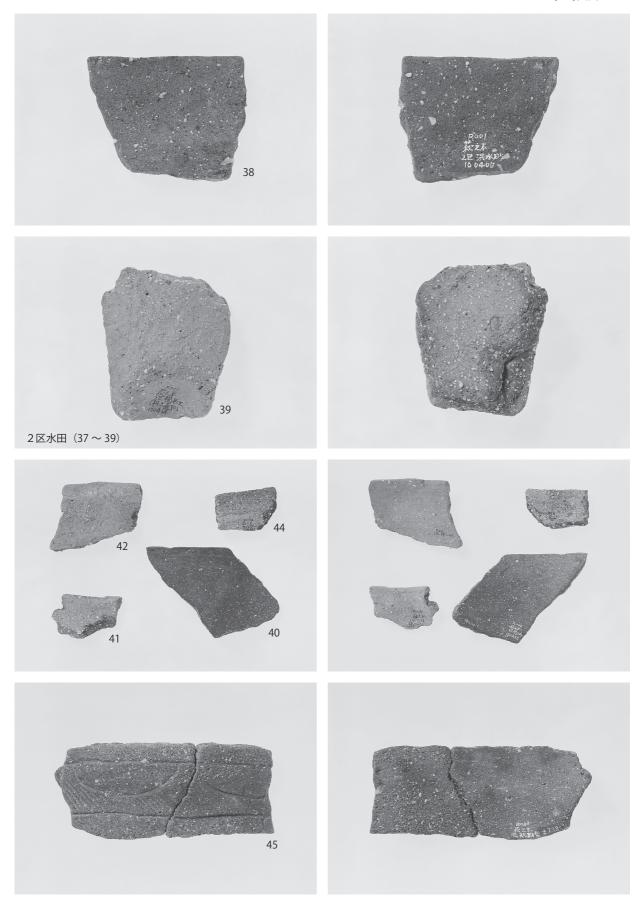


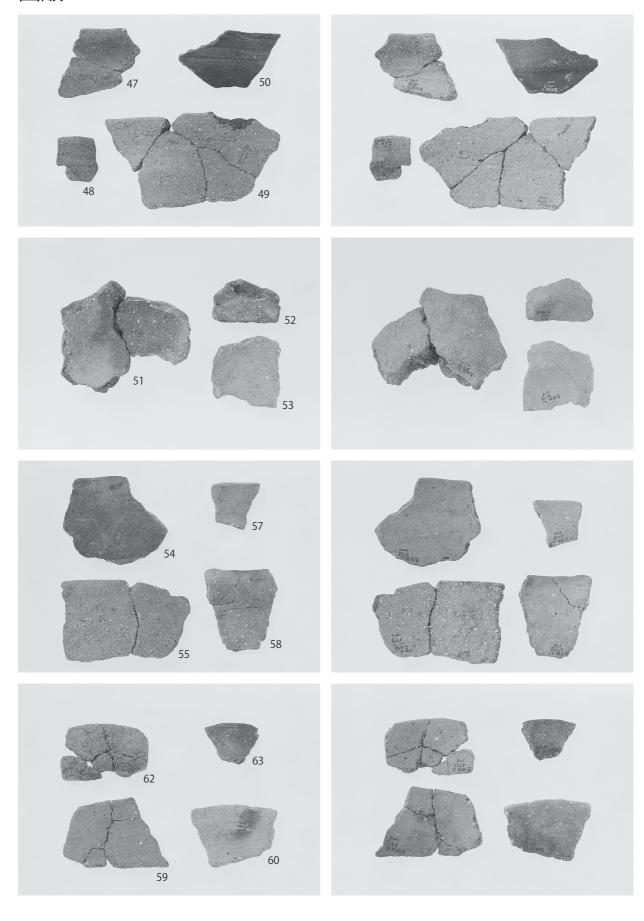


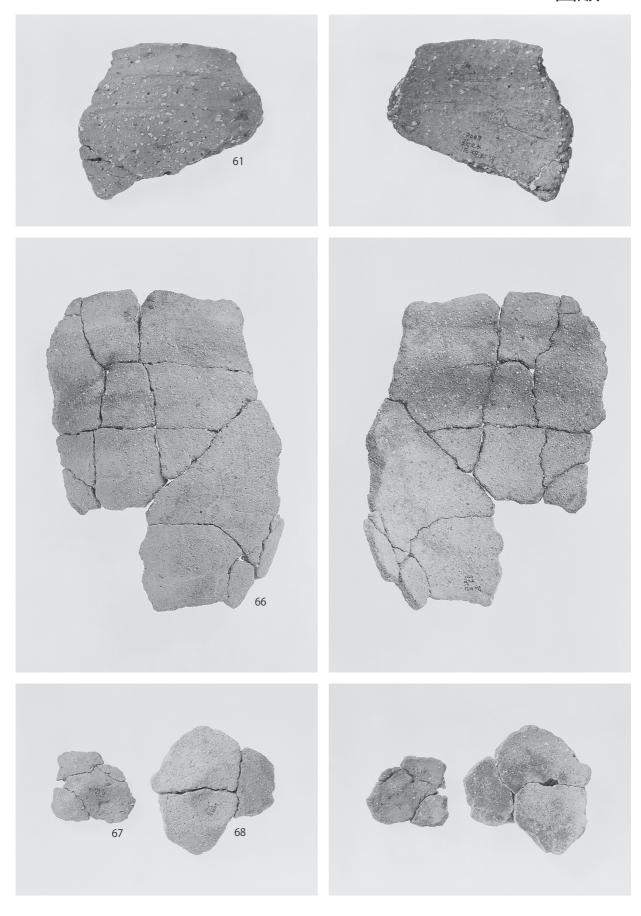


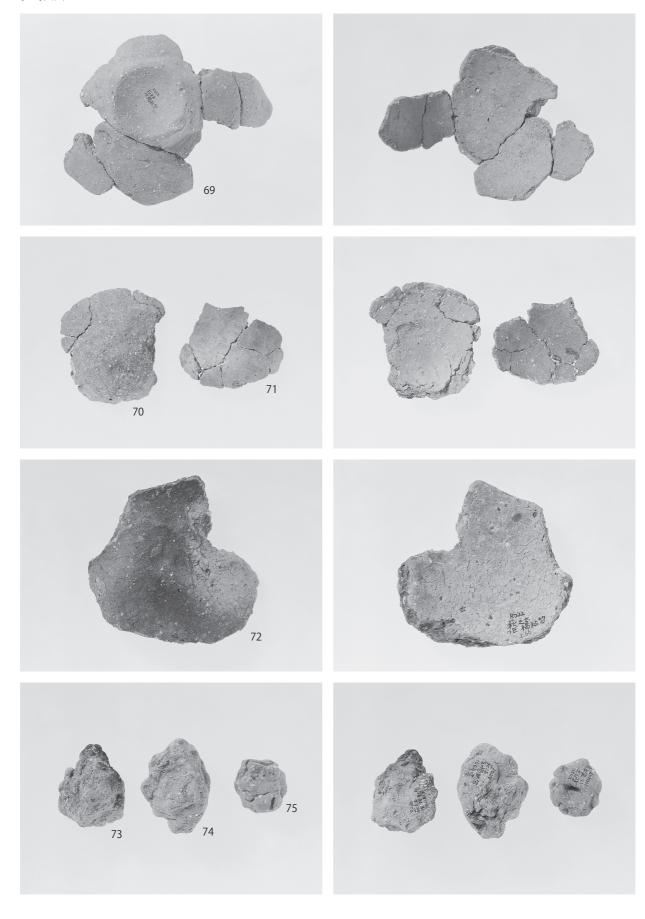


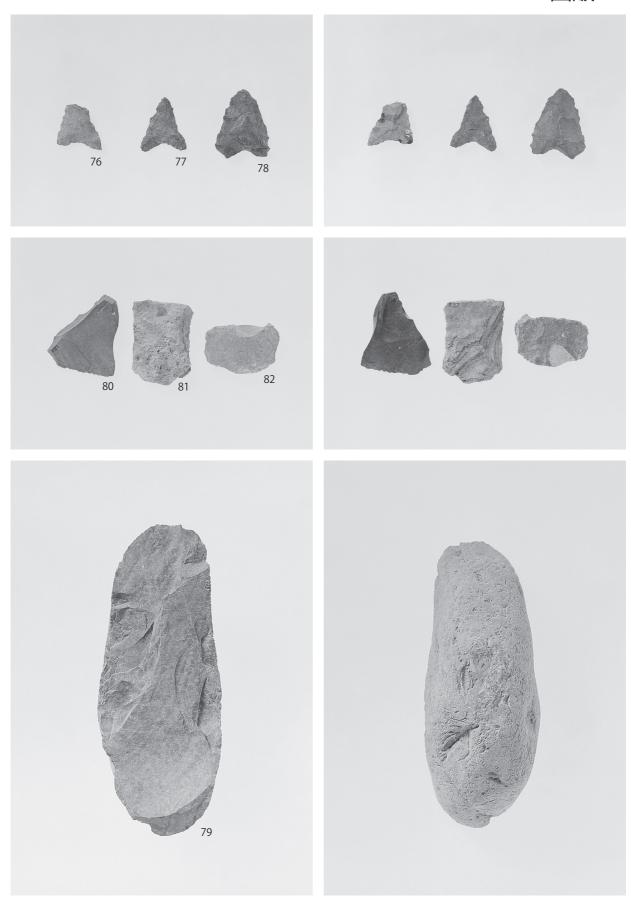


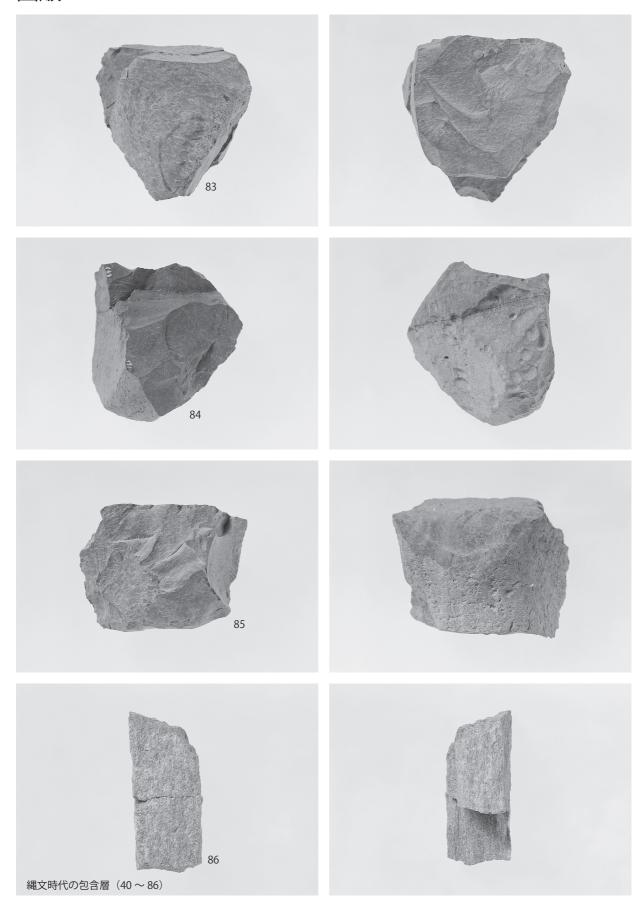


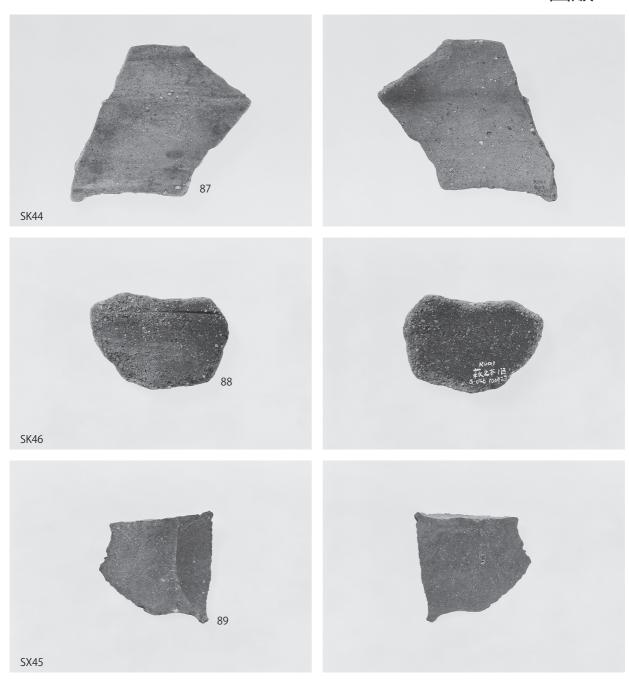


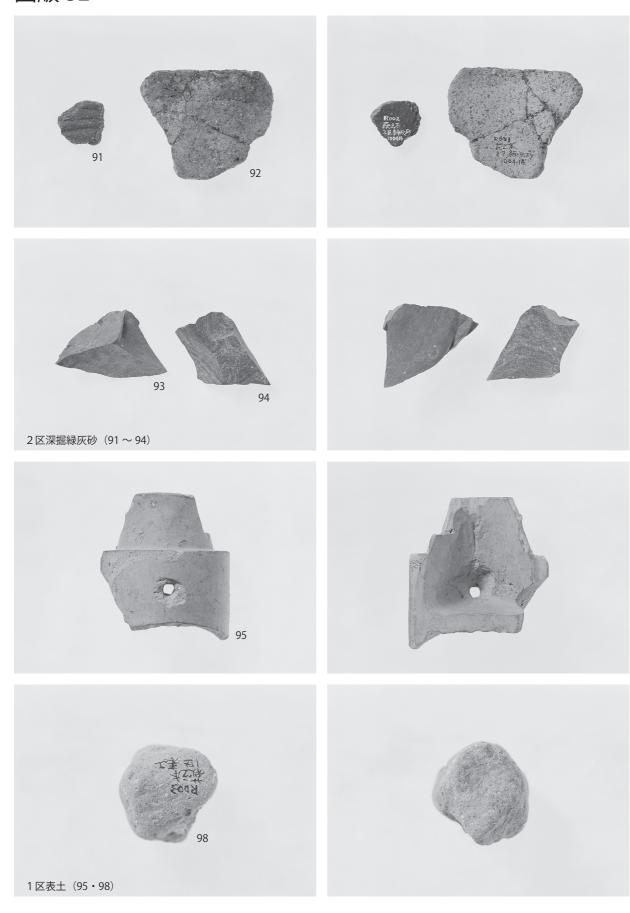












報告書抄録

ふり 7	がな	はぎのもといせき							
書	名	萩之本遺跡発掘調査報告書							
副書	名	平成 21 年度発掘調査報告書							
巻 次									
シリーズ名									
シ リ ー ズ番号									
編著者名		佐藤亜聖							
編集機関		財団法人元興寺文化財研究所							
所 在 地		〒 630-8392 奈良県奈良市中院町 11 Tel 0742-23-1376							
発行年月日		西暦 2011年3月31日							
ふりがな	اخ	りがな	コ	ード	北緯	東 経	調査期間	調査面積	- 調査原因
所収遺跡名	所	在 地	市町村	遺跡番号	0 / //	0 / //	Did TT 231161	m ²	则且从囚
		ts しかわにしちょう 東市川西町 1-1、492-1、 4-1	29205		36° 05′ 04″	136° 58′ 02″	20090311 ~ 20090510	404 m²	事務所お よび給油 タンク等 の建設
所収遺跡名	種別	重別主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項	
はぎのもといせき 萩之本遺跡	1	4 文時代後期~晦期		縄文時代 根株・土坑・包含層 弥生時代 水田・土坑・溝 平安時代 柵列・土坑		縄文土器、弥生土器、 平安時代土師器・黒色 土器			
縄文時代後期後半から晩期初頭の人為的な焼失の可能性もあるアカガシ亜属根株を検出。同時期の遺物包含層を検出。さらに上層では弥生時代前期と考えられる水田を検出。平野縁辺部の微地形形要約 成過程を復原できると同時に、弥生時代前期水田の広がりを確認した。平安時代(10世紀半ば〜後半)には柵列を伴う居住空間としての利用が判明した。素掘小溝の分析から、現状と同様の耕地景観の完成は、14世紀半ば以降と考えられる。									

萩之本遺跡

平成 21 年度発掘調査報告書

2011.3.31

(発行・編集) 財団法人元興寺文化財研究所 (印刷) 共同精版印刷株式会社